

証券コード：5411



JFE

JFEグループ インベスターズ・ミーティング

2019年5月14日

JFEホールディングス株式会社



JFE

目次

1. 2018年度決算
2. 2019年度業績見通し
3. 第6次中期経営計画の取り組み状況

本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、提示された予測等は説明会の時点で入手された情報に基づくものであり、不確定要素を含んでおります。従いまして、本資料のみに依拠して投資判断されますことはお控え下さいますようお願い致します。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

JFEグループ 2018年度決算



2018年度 決算概要 (IFRS)

JFE

(億円)	2017年度 年間(A)	2018年度 年間(B)	増減 (B-A)	2018年度 見通し(C)	増減 (B-C)
売上収益	36,272	38,736	2,464	38,000	736
事業利益	2,183	2,320	137	2,330	▲10
金融損益	▲144	▲125	19	▲130	5
セグメント利益					
鉄鋼事業	1,872	1,613	▲259	1,600	13
エンジニアリング事業	187	201	14	220	▲19
商社事業	351	357	6	350	7
調整額	▲372	23	395	30	▲7
合計	2,038	2,195	157	2,200	▲5
個別開示項目	▲510	▲102	408	▲100	▲2
税引前利益	1,528	2,093	565	2,100	▲7
税金費用・ 非支配持分帰属当期利益	▲552	▲458	94	▲500	42
親会社の所有者に帰属する 当期利益	976	1,635	659	1,600	35



2018年度 決算概要 (日本基準)

JFE

JFEホールディングス

(億円)	2017年度 年間(A)	2018年度 年間(B)	増減 (B-A)
売上高	36,786	39,617	2,831
営業利益	2,466	1,912	▲554
営業外損益	▲303	299	602
鉄鋼事業	1,988	1,646	▲342
エンジニアリング事業	193	202	9
商社事業	330	357	27
調整額	▲349	6	355
経常利益	2,163	2,211	48
特別損益	▲29	▲112	▲83
税金等調整前当期純利益	2,133	2,099	▲34
税金費用・ 非支配株主帰属損益	▲687	▲457	230
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,446	1,642	196

2018年度 見通し(C)	増減 (B-C)
39,000	617
1,900	12
300	▲1
1,600	46
220	▲18
350	7
30	▲24
2,200	11
▲100	▲12
2,100	▲1
▲500	43
1,600	42



JFE

2018年度決算（日本基準→IFRS差異）

JFEホールディングス

(億円)

		売上高/ 売上収益	経常利益/ 事業利益
日本基準		39,617	2,211
表示組替	金融損益	—	+ 125
認識及び 測定の違い	代理人取引他	▲ 881	—
	退職給付他	—	▲ 16
IFRS		38,736	2,320

JFEスチール 2018年度決算



生産・出荷

JFE

	単位	2017年度 年間 (A)	2018年度			年間 (B)	差異 (B-A)	2018年度 前回公表 (C)
			上期	下期				
				3Q	4Q			
単独粗鋼生産量	万t	2,846	1,404	639	588	2,631	▲215	2,700 程度
連結粗鋼生産量	万t	3,006	1,484	679	625	2,788	▲218	2,850 程度
単独鋼材出荷量	万t	2,530	1,206	624	548	2,378	▲152	2,430 程度
鋼材輸出比率 (単独・金額ベース)	%	44.4	43.3	43.5	36.0	41.7	▲2.7	42
鋼材平均価格	千円/t	75.3	80.6	82.9	82.0	81.5	6.2	81
為替レート	円/ドル	111.2	109.5	113.4	110.3	110.7	▲0.5	111
期末為替レート	円/ドル	106.2	113.6	111.0	111.0	111.0	4.8	



JFE

2018年度見通し ⇒ 実績 セグメント利益 +13億円内訳

JFEスチール

【IFRS】

(億円)

JFEスチール	2017年度 実績 (A)	2018年度 見通し (B)	2018年度 実績 (C)	年度差異 2017年度 →2018年度 (C-A)	年度差異 見通し →実績 (C-B)
セグメント利益	1,872	1,600	1,613	▲259	+13

■ **コスト** ± 0

■ **数量・構成** ▲ 100 ⇒

■ **販価・原料** ± 0

■ **棚卸資産評価差等** + 40 ⇒

■ **その他** + 73 ⇒

合計 + 13

<18年度 自然災害・操業トラブル影響 (累計) >

◆ 粗鋼生産減▲270万t (2,900万t→2,631万t)

◆ 収益影響▲720億円 (コスト▲220億円、数量▲500億円)

粗鋼生産減▲69万t (2,700万t→2,631万t)
(うち福山第4高炉復旧遅れ ▲40万t)

棚卸資産評価差 +20 (+330→+350)
原料キャリーオーバー影響 +20 (▲30→▲10)
為替換算差 ±0 (+30→+30)

グループ会社等



JFE

2017年度 ⇒ 2018年度 セグメント利益 ▲259億円内訳

JFEスチール

【IFRS】

(億円)

JFEスチール	2017年度 実績 (A)	2018年度 見通し (B)	2018年度 実績 (C)	年度差異 2017年度 →2018年度 (C-A)	年度差異 見通し →実績 (C-B)
セグメント利益	1,872	1,600	1,613	▲259	+13

■ **コスト**

± 0



コスト削減+220、操業トラブルによる一過性影響▲220

■ **数量・構成**

▲ 400



粗鋼生産減▲215万t (2,846万t→2,631万t)

■ **販価・原料**

+ 720

■ **金属・資材他**

▲ 550

■ **基盤整備費用**

▲ 300

■ **棚卸資産評価差等**

+ 100



棚卸資産評価差 +80 (+270→+350)
原料キャリーオーバー影響 ▲50 (+40→▲10)
為替換算差 +70 (▲40→+30)

■ **その他**

+ 171



海外グループ会社 等

合計

▲ 259

JFEエンジニアリング 2018年度決算



JFEエンジニアリング 2018年度決算

JFE

【IFRS】

(億円)

	2017年度 (実績) A	2018年度 (見通し) B	2018年度 (実績) C	増減 (対前年度) (C-A)	増減 (対見通し) (C-B)
受注高	4,887	5,000	4,828	▲59	▲172
売上収益	4,015	4,800	4,858	+843	+58
セグメント利益	187	220	201	+14	▲19

【主な増減要因(対見通し)】

- ・受注高 ▲172 出件時期のずれによる減少
- ・セグメント利益 ▲19 資材・工事費上昇、案件構成差等により減少

【主な増減要因(対前年度)】

- ・売上収益 +843 前年度受注高拡大により増加
- ・セグメント利益 +14 売上収益増加等により増加

JFE商事 2018年度決算



J F E 商事 2018年度決算

JFE

【IFRS】

(億円)

	2017年度 (実績)	2018年度 (見通し)	2018年度 (実績)	増減 (対前年度)	増減 (対見通し)
	A	B	C	(C-A)	(C-B)
売上収益	9,993	10,900	11,258	+ 1,265	+ 358
セグメント利益	351	350	357	+6	+7

【主な増減要因（対前年度）】

- ・主に海外グループ会社の収益拡大に加え、販売価格の改善により増益

配当について



配当について

- 2019年3月期の期末配当につきましては、1株につき50円（年間95円）とする案を株主総会にお諮りする方針といたしました。

JFEグループ 2019年度 業績見通し



□ 鋼材需要

国内外ともに鋼材需要は総じて堅調な推移を見込むも、貿易摩擦によるリスクに引き続き注意が必要

- 国内建設：公共事業や首都圏再開発等を中心に堅調に推移
- 国内製造業：自動車、建設機械向けを中心に底堅い需要が継続
- 海外：東南アジアをはじめ各地域の鋼材需要は概ね底堅く推移

□ 中国鋼材市況・メタルスプレッド

中国鋼材市況・メタルスプレッドは底打ちし、足下は反転基調が継続

□ 主原料市況

鉄鉱石は、ブラジルの鉱山ダム決壊事故、豪州サイクロン等の影響による供給減が意識され市況が上昇。足下は高止まり推移。

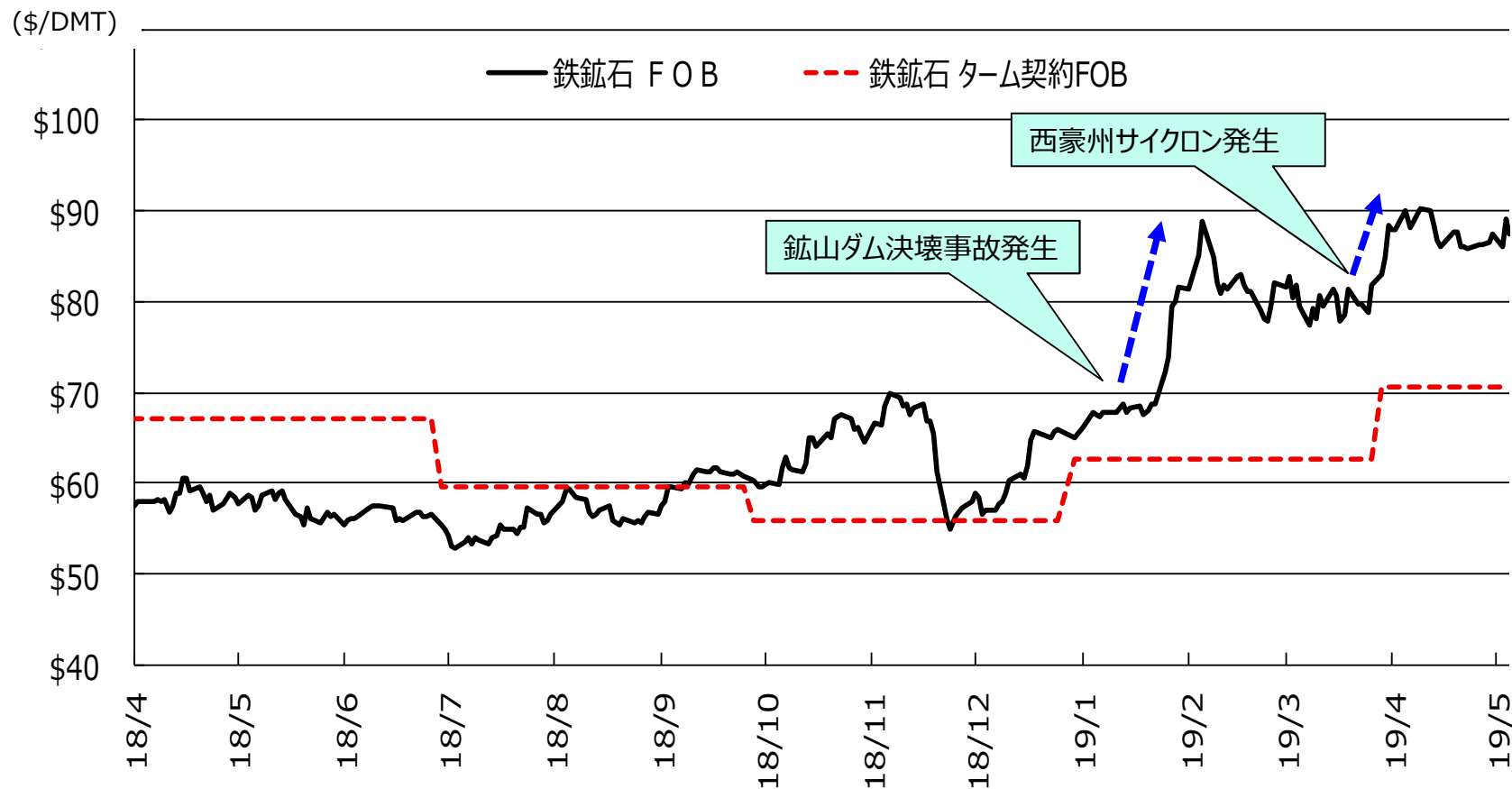


(参考) 鉄鉱石市況の動向について

JFE

1月下旬のブラジル鉱山ダム決壊事故、3月末の西豪州のサイクロンをうけ鉄鉱石市況は上昇

鉄鉱石 (豪州粉鉱)





JFE

2019年度業績見通し①

JFEホールディングス

ホールディングス事業利益は、1,800億円の見通し

(億円)

	2018年度 実績	2019年度 見通し	増減
事業利益	2,320	1,800	▲520

セグメント利益

鉄鋼事業	1,613	1,050	▲563
エンジニアリング事業	201	230	29
商社事業	357	360	3

事業利益：税引前利益から金融損益及び金額に重要性のある一過性の項目を除いたもの

セグメント利益：事業利益に金融損益を加えたもの



JFE

2019年度業績見通し②

<鉄鋼事業セグメント利益 対18年度増減要因内訳>

(億円)

■ コスト	+ 600	⇒	コスト削減+380、18年度一過性影響なし+220
■ 数量・構成	+ 500		
■ 販価・原料	▲ 750		
■ 棚卸資産評価差等	▲ 400		
■ 資材単価等	▲ 150	⇒	資材、物流、外注単価上昇等
■ その他	▲ 363	⇒	基盤整備推進に伴う償却費増、グループ会社等
計		▲	563

【主な試算前提】

粗鋼生産量 (JFEスチール単独)	年間2,900万t程度
為替レート	108円/ドル

第6次中期経営計画の 取り組み状況



第6次中期経営計画 主要財務・収益目標

JFE

1. グループ全体

※2018年4月26日

IFRS	
事業利益	2,900億円/年
親会社の所有者に 帰属する当期利益	2,000億円/年
Debt/EBITDA倍率	3倍程度

日本基準(6次中期公表時※)	
連結経常利益	2,800億円/年
親会社株主に 帰属する当期純利益	2,000億円/年
Debt/EBITDA倍率	3倍程度

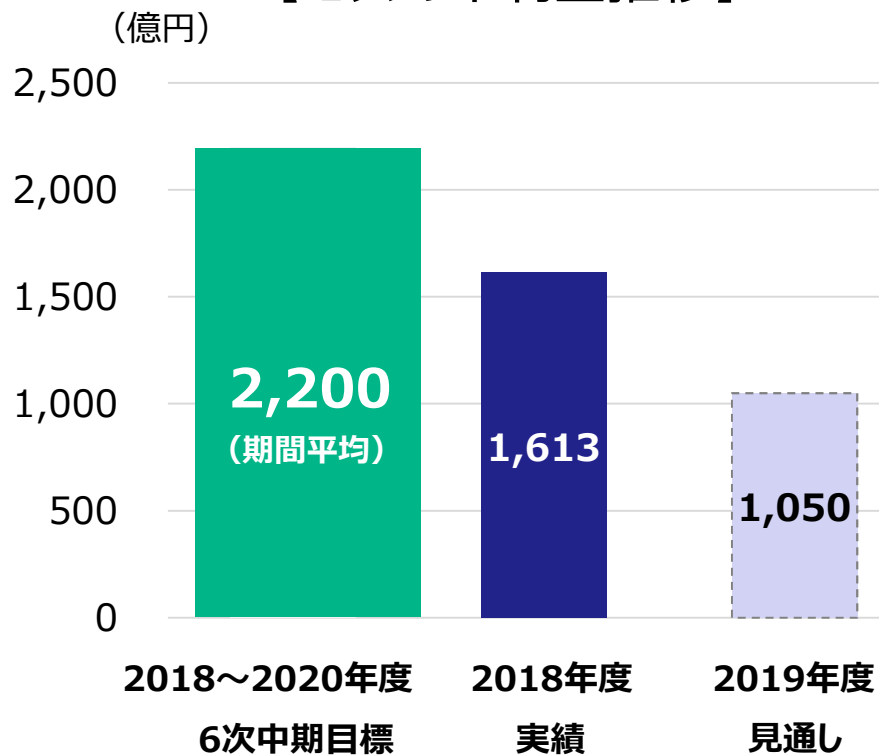
2. 事業会社

IFRS	
セグメント利益	
鉄鋼事業	2,200億円/年
エンジニアリング事業	300億円/年
商社事業	350億円/年

日本基準(6次中期公表時※)	
連結経常利益	
鉄鋼事業	2,200億円/年
エンジニアリング事業	300億円/年
商社事業	350億円/年



【セグメント利益推移】



2018年度実績の概況

中期目標(期間平均)との差異

- **自然災害、操業トラブルによる数量減、コストアップ**
(アクションベースのコスト削減は予定通り進捗)
- **諸物価上昇 (金属、資材等の物価上昇影響)**
- **海外市況堅調 (スプレッド改善)**

第6次中期経営計画で掲げる、製造実力の強靱化（単独粗鋼3,000万トン体制の実現およびコスト削減）をはじめとした各種施策を着実に実行していく。



鉄鋼事業の取り組み状況（高炉安定操業に対する取り組み）

JFE

高炉トラブル対策チームを中心に、トラブルの直接原因の対策の実施、恒久的な高炉の安定化対策を検討・推進中（100億円規模の設備投資を実施予定）

トラブル原因	<p><高炉付帯設備の破損> 高炉付帯設備の劣化診断・更新対応の一部不備、非定常操業時の設備負荷増大 <設備異常時の操業オペレーションの不備> 世代交代による経験不足、高炉・地区毎の異常時対応作業標準のばらつき</p>
--------	--

トラブル対策<完了>

- 破損部位の補修・対策の実施
- 異常時対応基準の見直し
- 操業監視の強化（異常早期検知のためのオペレーター監視&自動センシングの強化）



全高炉が通常操業に復旧

同様のトラブルの再発防止体制を全地区で整備

恒久的な高炉の主な対策<推進中>

- 高炉付帯設備の劣化対応の推進
- 異常の早期検知、復旧時間の短縮
 - ・センサーによる高炉「見える化」の推進
 - ・IoTを活用した温度管理、炉体診断の導入
 - ・AIを活用したオペレーター支援システムの構築



鉄鋼事業の取り組み状況（製造実力の「強靱化」①）

JFE

西日本製鉄所への重点投資による能力増強・コスト削減の推進に加え、安定操業に向けた取り組みを強化

<6次中期 国内設備投資> IFRS: 1兆円規模/3カ年 (日本基準: 8,500億円)

※日本基準→IFRS差異：固定資産範囲の拡大

主な取り組み

■ 能力増強・パフォーマンス最大化への投資

倉敷連続鋳造機の新設 ほか
⇒単独粗鋼 3,000万 t 体制の実現

■ コスト優位性を追求する戦略的投資

福山焼結機増強 ほか

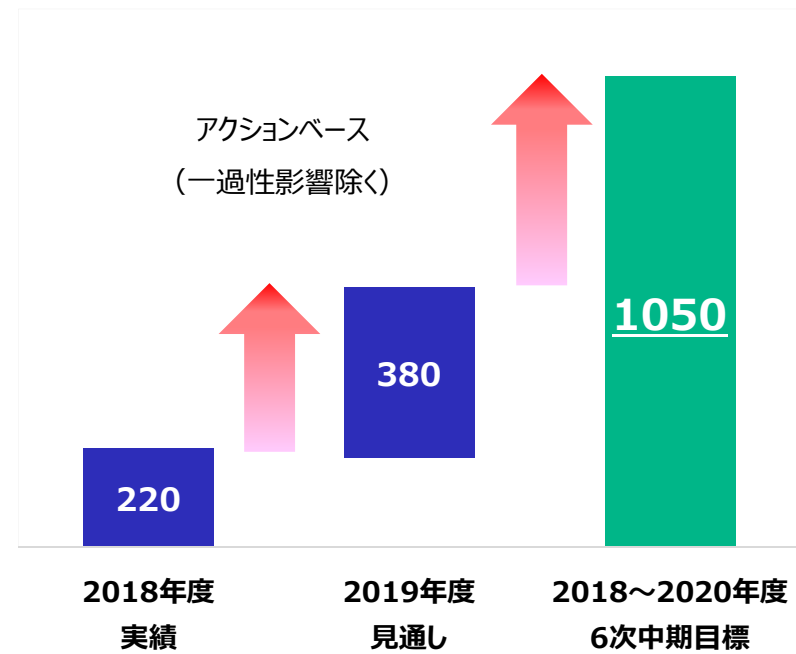
■ 計画的な更新投資

コークス炉更新、エネルギー設備更新 ほか

■ 高炉安定化の恒久対策の実施

安定化のための設備導入、AI・IoTの活用推進

<コスト削減金額推移> (億円)




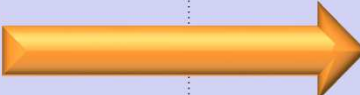






鉄鋼事業の取り組み状況（製造実力の「強靱化」②）

JFE

千葉第6コークス炉の更新によりコークス自給体制化を実現。計画的な更新投資と能力増強投資を着実に推進

主な設備投資案件の進捗

地区	設備	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
千葉	第6コークス炉B団			18年6月稼働	コークス自給体制化		
福山	第3コークス炉A団				19年度下期 (稼働予定)		
福山	第3コークス炉B団						21年度下期 (稼働予定)
福山	第3焼結機				19年度下期 (稼働予定)		
倉敷	新連続铸造機					20年度下期 (稼働予定)	
京浜	扇島火力発電所リフレッシュ				19年度下期 (稼働予定)	⇒3,000万トン体制の確立	

 稼働済  今後稼働予定



鉄鋼事業の取り組み状況（海外事業の推進）

JFE

重点分野を中心に長期的視点での成長投資を実行。更なる現地生産拡大・収益拡大を推進

社名/プロジェクト	分野	2018年度	2019年度	2020年度	主な取り組み・進捗
NUCOR-JFE STEEL MEXICO (メキシコ・CGL)	自動車				設備据付工事を推進中。2019年中の営業生産開始に向け、今後順次試運転を開始予定
上海宝武杰富意清潔鉄粉 (中国・鉄粉)	自動車				2018年7月に営業生産開始。中国における自動車向け高級鉄粉供給を体制化
JFE MERANTI MYANMAR (ミャンマー・建材用薄板)	インフラ 建材				2020年中頃の営業生産開始に向け設備据付工事を推進中
AL GHARBIA PIPE (UAE・大径溶接鋼管)	エネルギー				設備据付工事が完了。営業生産開始に向け試運転を推進中
Formosa Ha Tinh Steel (ベトナム・第2高炉)	高炉一貫				2018年5月に第2高炉に火入れ。粗鋼700万トン体制化
JSW Steel (インド・ドルビ製鉄所拡張)	高炉一貫				2020年完工予定（粗鋼1,800→2,300万トン）
バイアウェン・コール (豪州・炭鉱)	原料権益				2019年1月初旬、西日本製鉄所向けに初出荷
JFEケミカル・宝武炭材料科技 による電池材料（負極材）事業	自動車				FS開始

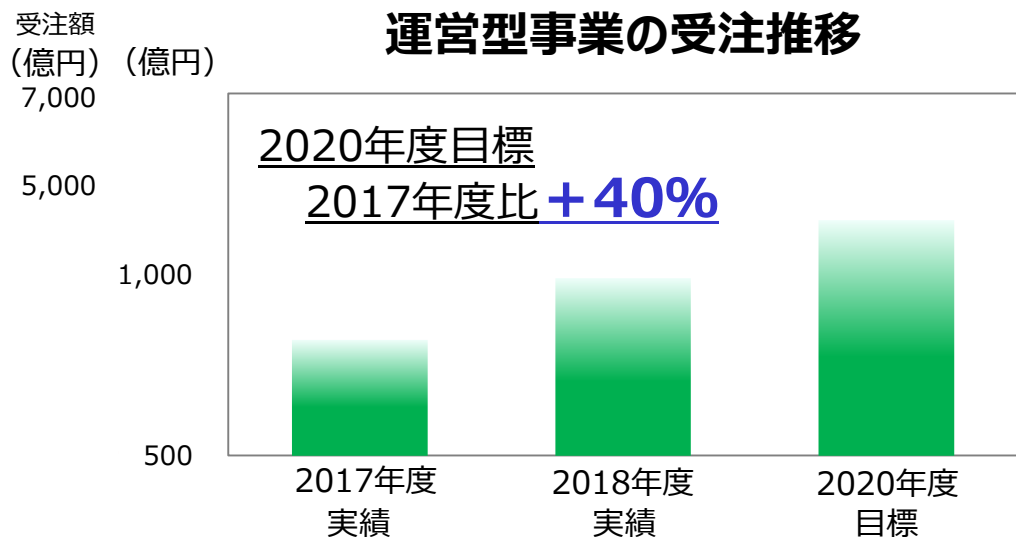
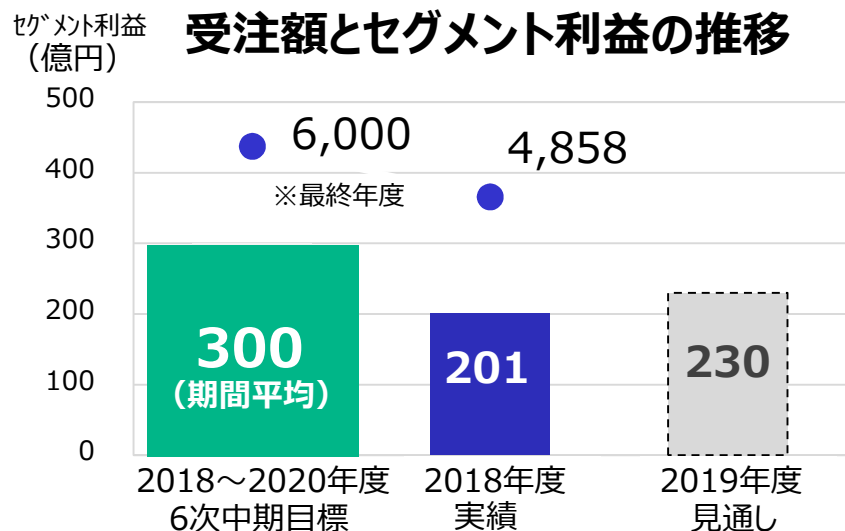
稼働済 今後稼働予定



JFE

エンジニアリング事業の取り組み状況

➤ **運営型事業の拡大や海外事業の収益力強化を着実に推進中**



【国内】18年度新規受注の主な運営型事業

事業場所		受注金額 ※建設費含む(税込)	運営期間
ごみ 処理 施設	出雲市	271億円	20年
	安曇野市	180億円	20年1か月
	鳥取市ほか	337億円	20年

【海外】海外事業の主な取り組み状況

- **ベトナム:ハノイ市最大の下水処理場を受注**
19年2月完成の同市ホアラク下水処理場に続き、高い技術力を評価され受注 ※受注額:約100億円
- **ミャンマー:ティラワ港の拡張工事が完成**
ミャンマー国政府との合弁企業**J&Mソリューションズ**を活用し、鋼製ジャケット栈橋を製作

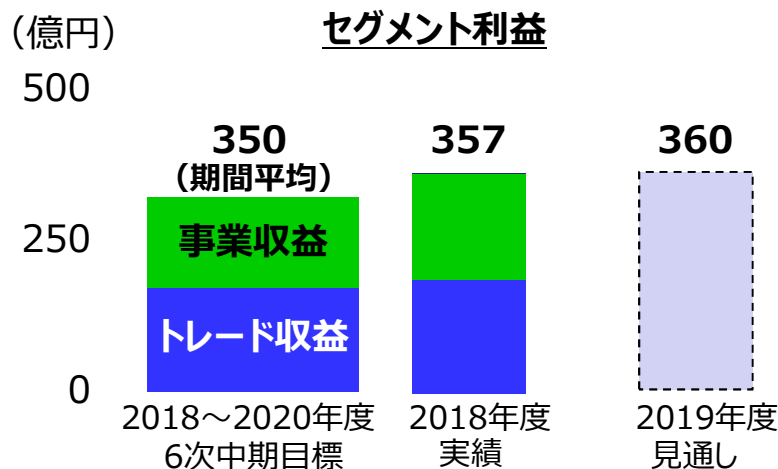


商社事業の取り組み状況

JFE

6次中期計画のねらい

「トレードと事業の両輪による安定収益基盤の確立と収益拡大」



セグメント利益の状況 (2018年度の概況)

北米をはじめ海外グループ会社を中心とした収益拡大や販価改善等により中期目標に対しオンライン

安定収益基盤の確立と収益拡大に向けた取り組み

- 海外アライアンス材、Gr外取引の更なる拡大
- 海外(米州、アセアン等)の活動領域と事業収益の更なる拡大

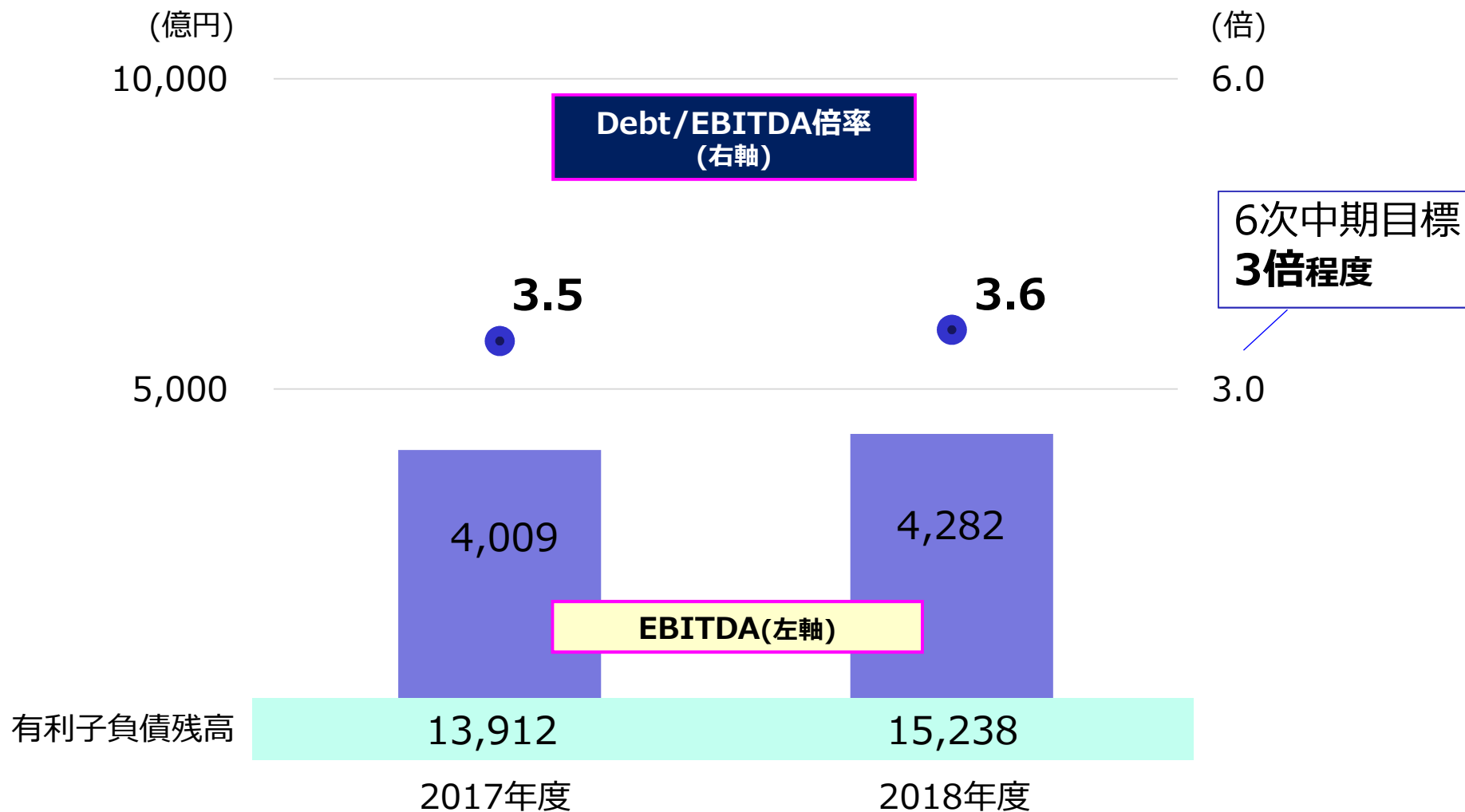
主な取り組み・進捗

トレード 収益	Grリリースの最大活用		海外アライアンス材の拡販 (FHS材、JSGT材等)	
	Gr外取引拡大		資機材の欧・印・伯ミルへの拡販、製鋼原料の輸出販路拡大	
事業 収益	川下強化	電磁	I.M.E. (Thailand) 社への出資 浙江r. bourgeois mechanics社 への出資	アセアン、中国車載・ 家電モーター市場の捕捉
		建材	ロールマットジャパン社の設立 (JFE商事鉄鋼建材)	施工現場の省力化・ 工期短縮に貢献
	加工流通/体質強化 事業領域拡大		JFE商事ブリキセンター新工場建設・ クリーンルーム新設 ※19年5月末竣工予定	



JFE

Debt/EBITDA倍率 (IFRS)



■ EBITDA = 事業利益 + 減価償却費及び償却費

■ Debt/EBITDA倍率 = 有利子負債残高/EBITDA



持続的な成長を支える企業体質強化

JFE

環境

パリ協定長期目標の達成に向け、日本の鉄鋼業界として新たに、2100年までを見据えた**長期温暖化対策ビジョン**を策定し(18年11月)、ゼロカーボンスチールの実現を目指す。JFEスチールではビジョンに基づき目標達成にむけた取り組み方針を公表、推進中。

社会

人権尊重・法令順守・環境保全に配慮した購買を行い、持続可能な原料購買体制の構築、維持を図るべく、JFEスチールにて**原料購買基本方針**を新たに制定(19年2月)。

ガバナンス

JFEホールディングスにて**初の女性監査役**が就任予定(19年6月)。今後も女性活躍を推進するとともに、取締役会・監査役会の多様性を確保し、実効性をより一層高めるよう努めていく。

➤ ESGに関わる各種取り組みの詳細は、弊社HPより下記資料をご覧ください。

『JFEグループレポート2018（統合報告書）』（2018年9月）

『JFEグループCSR報告書2018』（2018年9月）



參考資料



主な財務関連データ

JFE 【日本基準】

年度	'11	'12	'13	'14	'15	'16	'17	'18
【主要財務指標】(億円、%、倍)								
経常利益	529	522	1,736	2,310	642	847	2,163	2,211
EBITDA ※1	3,063	2,606	3,689	4,215	2,544	2,799	3,888	4,059
ROS ※2	1.7%	1.6%	4.7%	6.0%	1.9%	2.6%	5.9%	5.6%
ROE ※3	-2.6%	2.7%	6.3%	7.7%	1.8%	3.7%	7.6%	8.3%
ROA ※4	1.7%	1.6%	4.5%	5.5%	1.7%	2.3%	5.2%	5.1%
借入金・社債等残高(期末)	15,936	15,963	15,340	15,017	13,793	13,754	13,309	14,499
Debt/EBITDA倍率 ※5	5.2倍	6.1倍	4.2倍	3.6倍	5.4倍	4.9倍	3.4倍	3.6倍
D/Eレシオ ※6	83.5%	76.9%	67.9%	59.0%	56.9%	51.4%	58.1%	62.0%
【1株当たり情報】(円/株、%)								
親会社株主に帰属する当期純利益	-68.7	71.2	177.4	241.6	58.4	117.8	250.8	285.0
配当金	20	20	40	60	30	30	80	95
配当性向	-	28.1%	22.5%	24.8%	51.4%	25.5%	31.9%	33.3%

【日本基準】

- ※1 EBITDA: 経常利益+支払利息+減価償却費
- ※2 ROS: 経常利益/売上高
- ※3 ROE: 親会社株主に帰属する当期純利益/自己資本
- ※4 ROA: (経常利益+支払利息)/総資産
- ※5 Debt/EBITDA倍率: 借入金・社債等残高/EBITDA
- ※6 D/Eレシオ: 借入金・社債等残高/自己資本
但し、格付け評価上の資本性を持つ負債について、格付機関の評価により資本に算入

【IFRS】

年度	'18
【主要財務指標】(億円、%、倍)	
事業利益	2,320
EBITDA ※1	4,282
ROS ※2	6.0%
ROE ※3	8.6%
ROA ※4	5.0%
有利子負債残高(期末)	15,238
Debt/EBITDA倍率 ※5	3.6倍
D/Eレシオ ※6	68.2%
【1株当たり情報】(円/株、%)	
親会社の所有者に帰属する当期利益	283.8
配当金	95
配当性向	33.5%

【IFRS】

- ※1 EBITDA: 事業利益+減価償却費及び償却費
- ※2 ROS: 事業利益/売上収益
- ※3 ROE: 親会社の所有者に帰属する当期利益/親会社の所有者に帰属する持分
- ※4 ROA: 事業利益/資産合計
- ※5 Debt/EBITDA倍率: 有利子負債残高/EBITDA
- ※6 D/Eレシオ: 有利子負債残高/親会社の所有者に帰属する持分
但し、格付け評価上の資本性を持つ負債について、格付機関の評価により資本に算入



JFE

キャッシュフローの状況

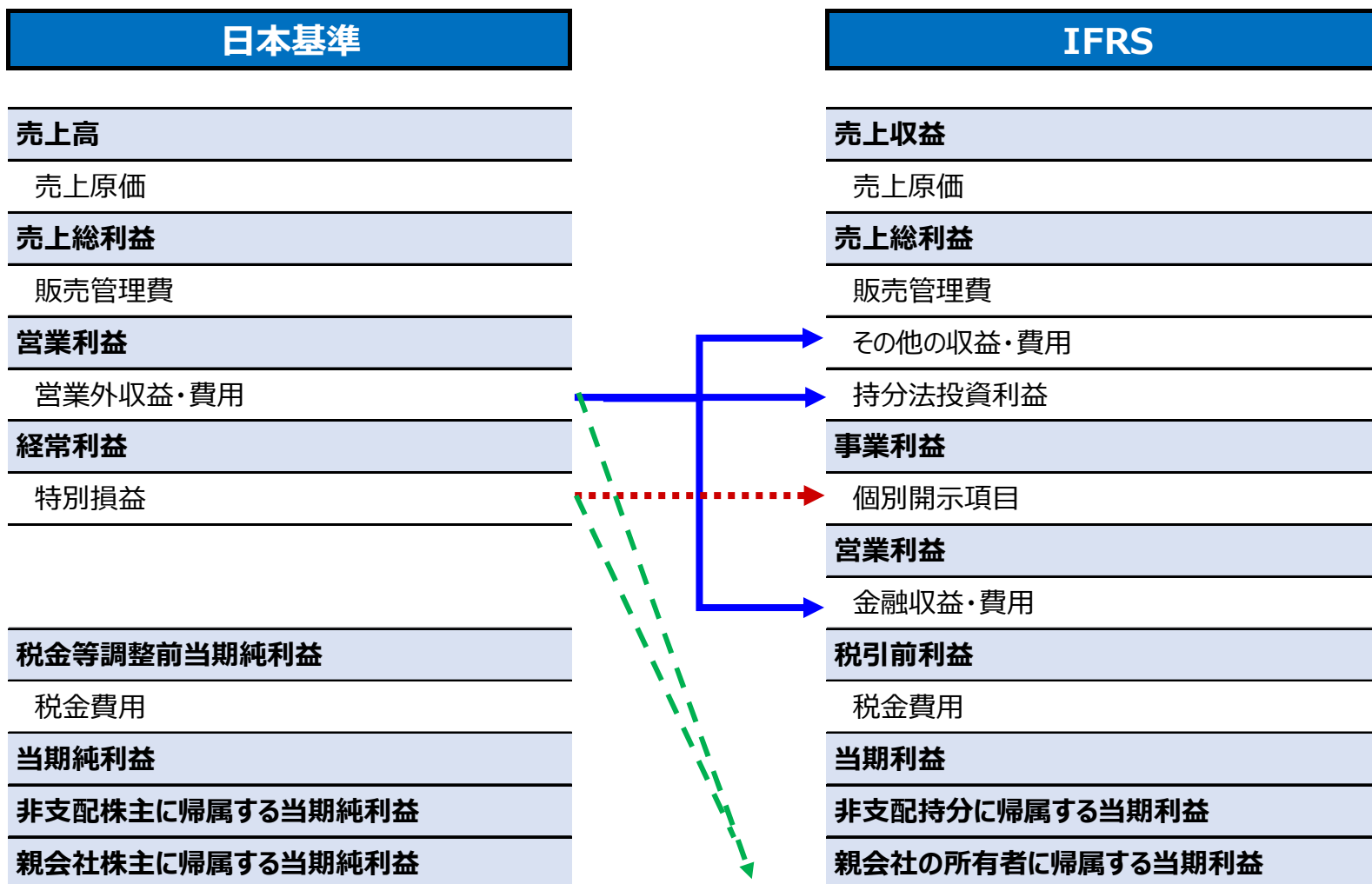
2018年度連結キャッシュフロー (億円)

原資		用途	
当期利益	1,635	配当金支払	546
減価償却費及び償却費	1,962	設備投資・投融資	3,209
有利子負債	1,326	運転収支他	1,168



JFE

日本基準・IFRS 段階損益





JFE

[日本基準] 2018年度10-12月 ⇒

JFEスチール

2018年度1-3月 経常利益 ▲351億円内訳

JFEスチール	2018年度					差異 10-12月 →1-3月
	上期	10-12月		下期	年間	
		10-12月	1-3月			
経常利益	1,141	428	77	505	1,646	▲351

- 数量・構成 ▲ 80
- 販価・原料 ▲ 200
- 棚卸資産評価差等 ▲ 50
- その他 ▲ 21



棚卸資産評価差 ▲70 (+110→+40)
 原料キャリーオーバー影響 +40 (+20→+60)
 為替換算差 ▲20 (±0→▲20)

合計 ▲ 351



JFE

[日本基準] 2018年度上期 ⇒

2018年度下期 経常利益 ▲636億円内訳

JFEスチール

(億円)

JFEスチール	2018年度					差異 上期 →下期
	上期	10-12月	1-3月	下期	年間	
経常利益	1,141	428	77	505	1,646	▲636

■ コスト ▲ 100

■ 数量・構成 ▲ 240

■ 販価・原料 ▲ 200

■ 棚卸資産評価差等 + 50 ⇒

棚卸資産評価差 ▲50 (+200→+150)
原料キャリーオーバー影響 +170 (▲90→+80)
為替換算差 ▲70 (+50→▲20)

■ その他 ▲ 146 ⇒

償却費・廃却損増 等

合計 ▲ 636



JFEエンジニアリング 受注内容

(億円)

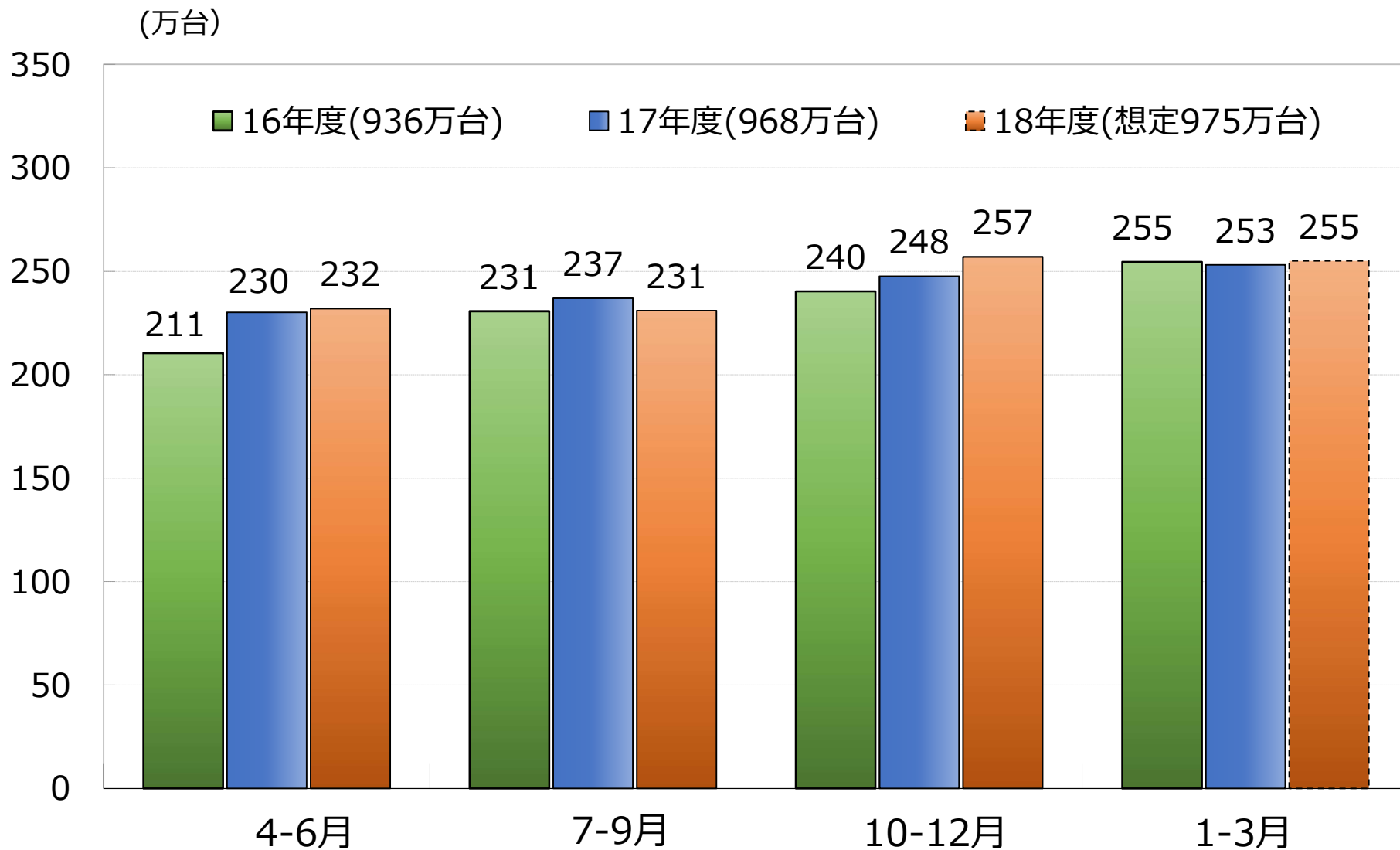
分野	2017年度 実績	2018年度 実績	増減	2018年度 主な受注内容 ★…第4四半期 新規・追加受注案件
環境	2,273	2,126	▲147	国内廃棄物処理施設 新設[鳥取、島根] 国内廃棄物処理施設 基幹改良工事[宮城] 国内最終処分場浸出水処理設備[鳥取] 国内災害廃棄物減容化処理 海外下水処理場建設工事[ハノイ市エンサ] ★海外廃棄物発電・廃熱回収プラント新設[欧州]
エネルギー	1,269	1,328	+59	新居浜LNG基地 建設工事 南部幹線パイプライン I 期 [知多～半田]
社会 インフラ他	1,344	1,374	+30	橋梁新設工事（春田3高架橋[愛知]、出島架橋[宮城]、 城陽西高架橋[京都]、★ハンセン橋梁1工区[沖縄]） 橋梁改築工事（首都高速、渋谷駅西口歩道橋） 橋梁緊急補修工事（大島大橋[山口]） コンテナクレーン [静岡、高知] 木質バイオマス搬送・貯蔵設備設置工事 （新小野田[山口]、★三隅[島根]） スマートアグリプラント [栃木]
合計	4,887	4,828	▲59	



国内販売環境

自動車生産台数推移

JFE

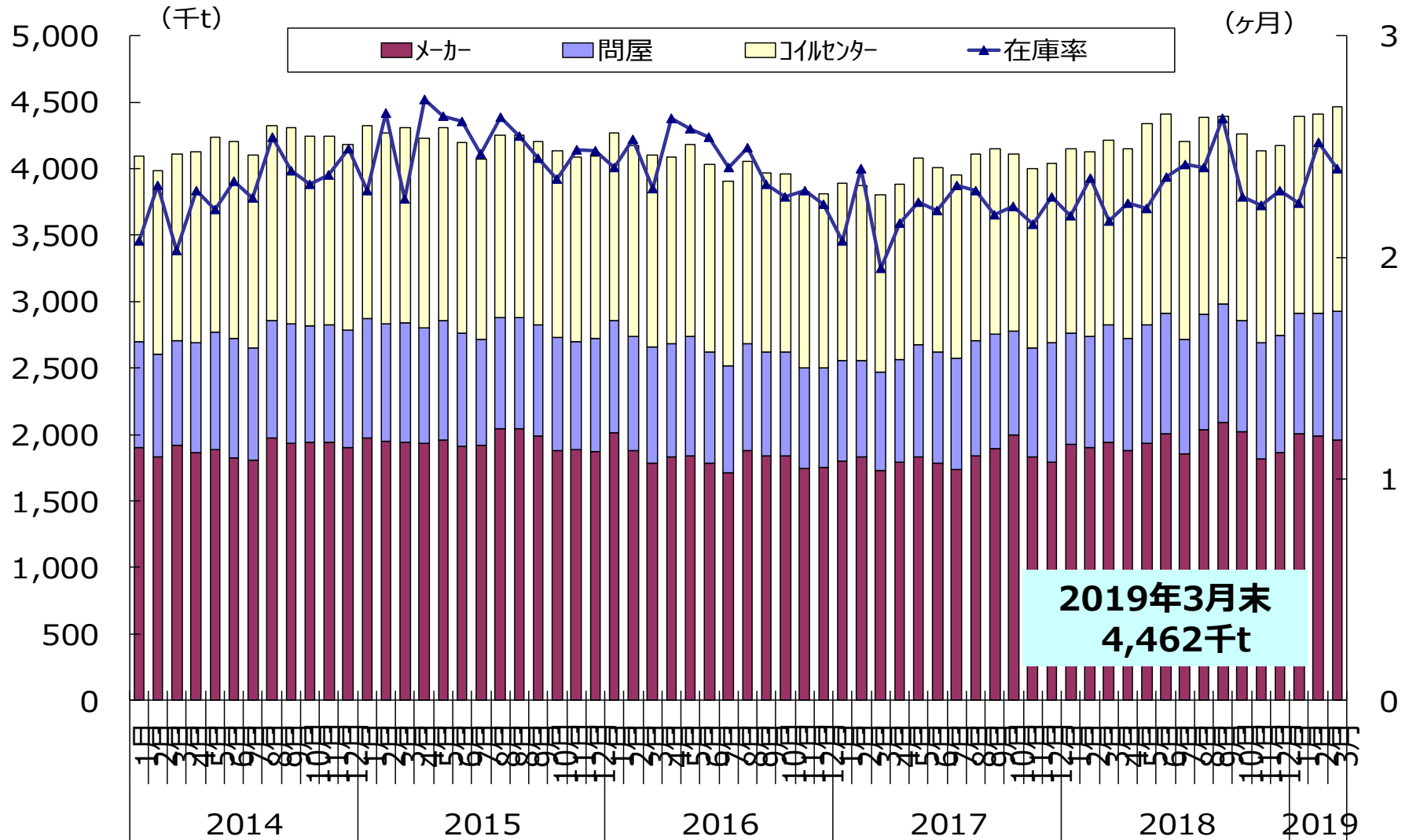




国内販売環境

薄板 3 品在庫

JFE

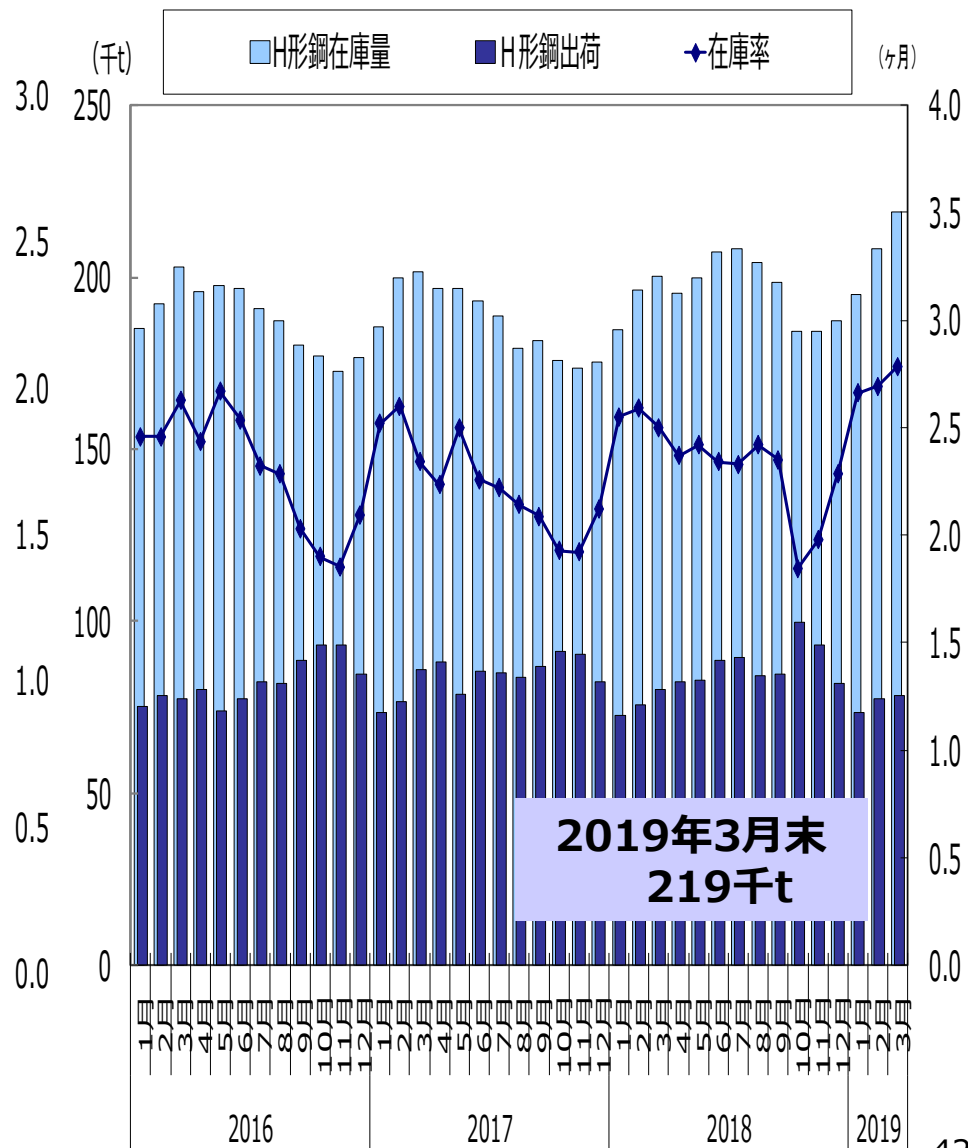
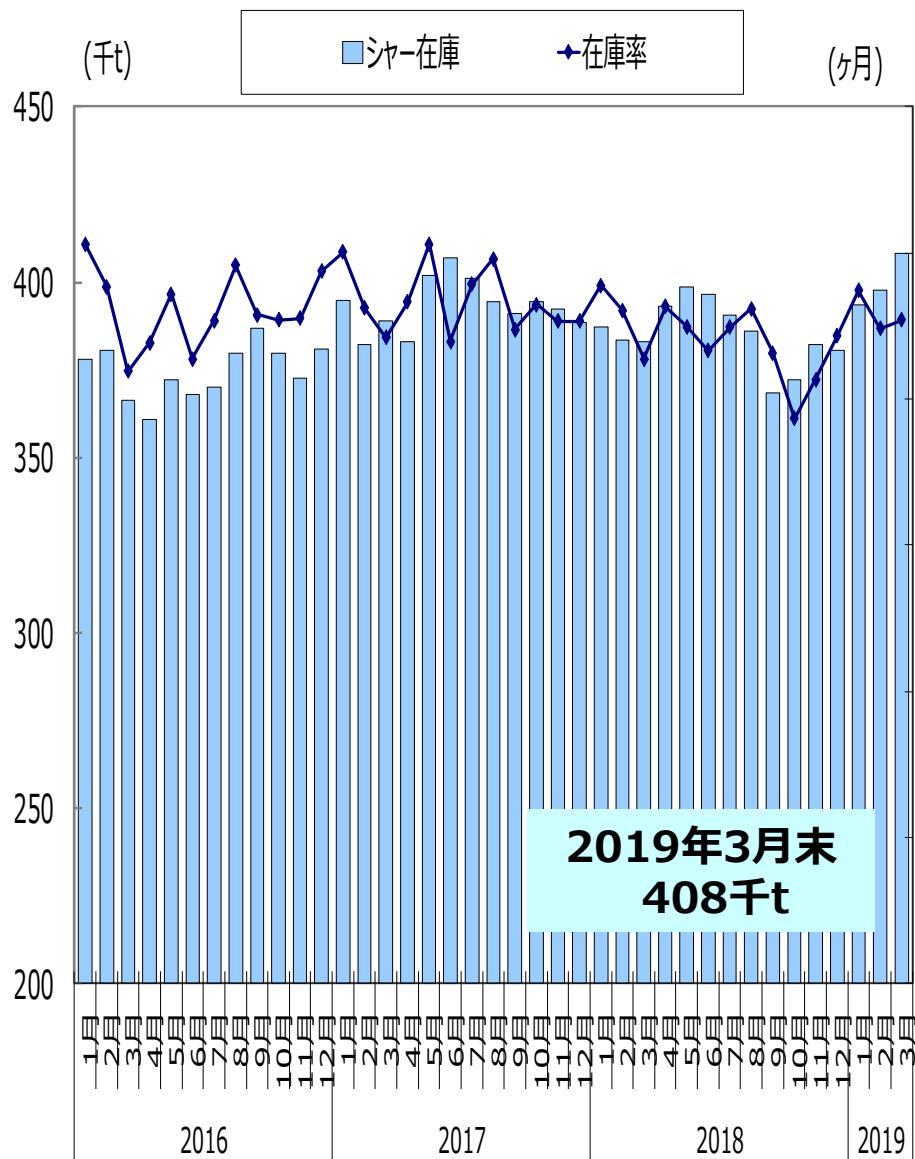




国内販売環境

厚板シャ-・H形鋼在庫

JFE

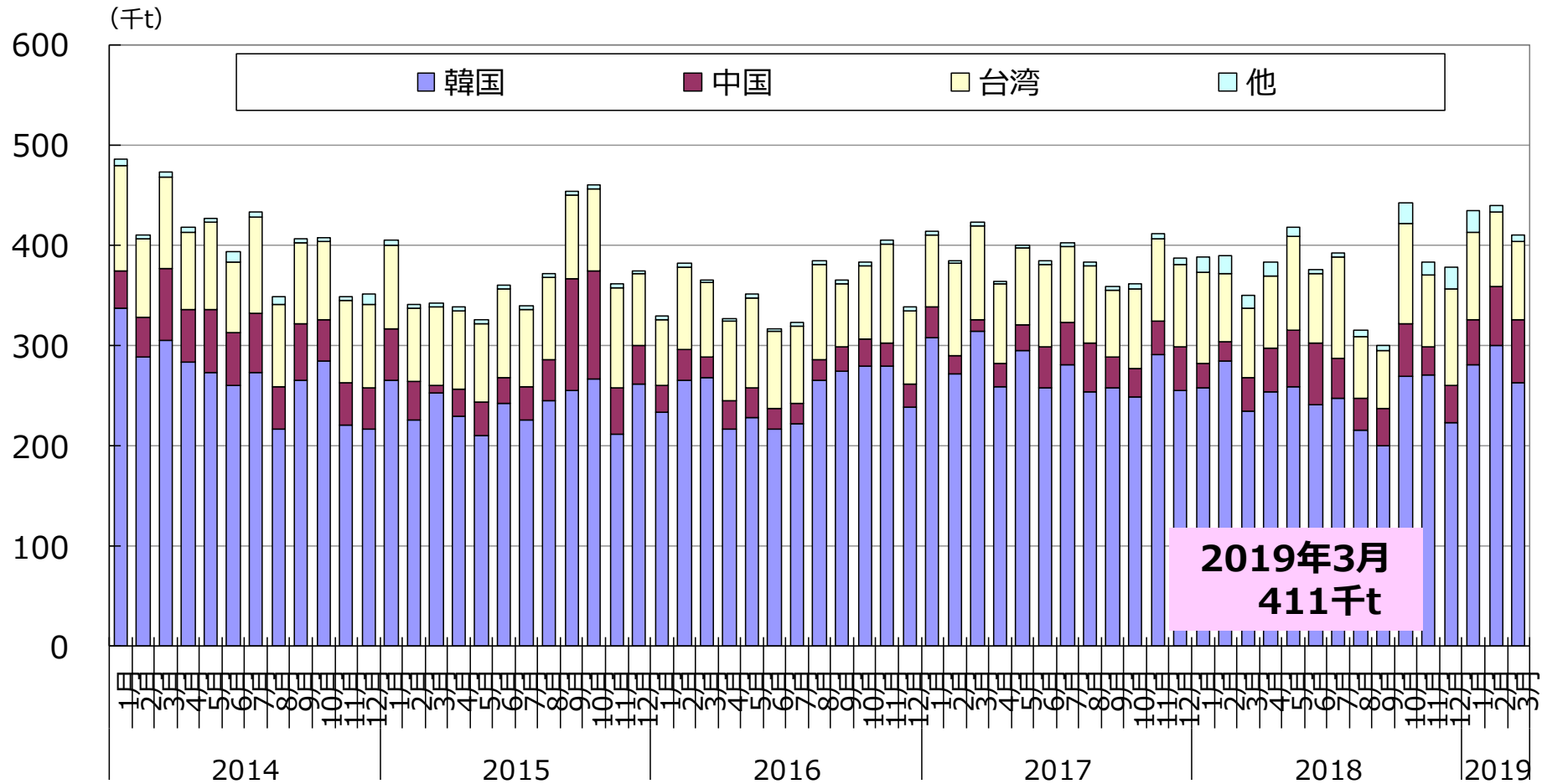


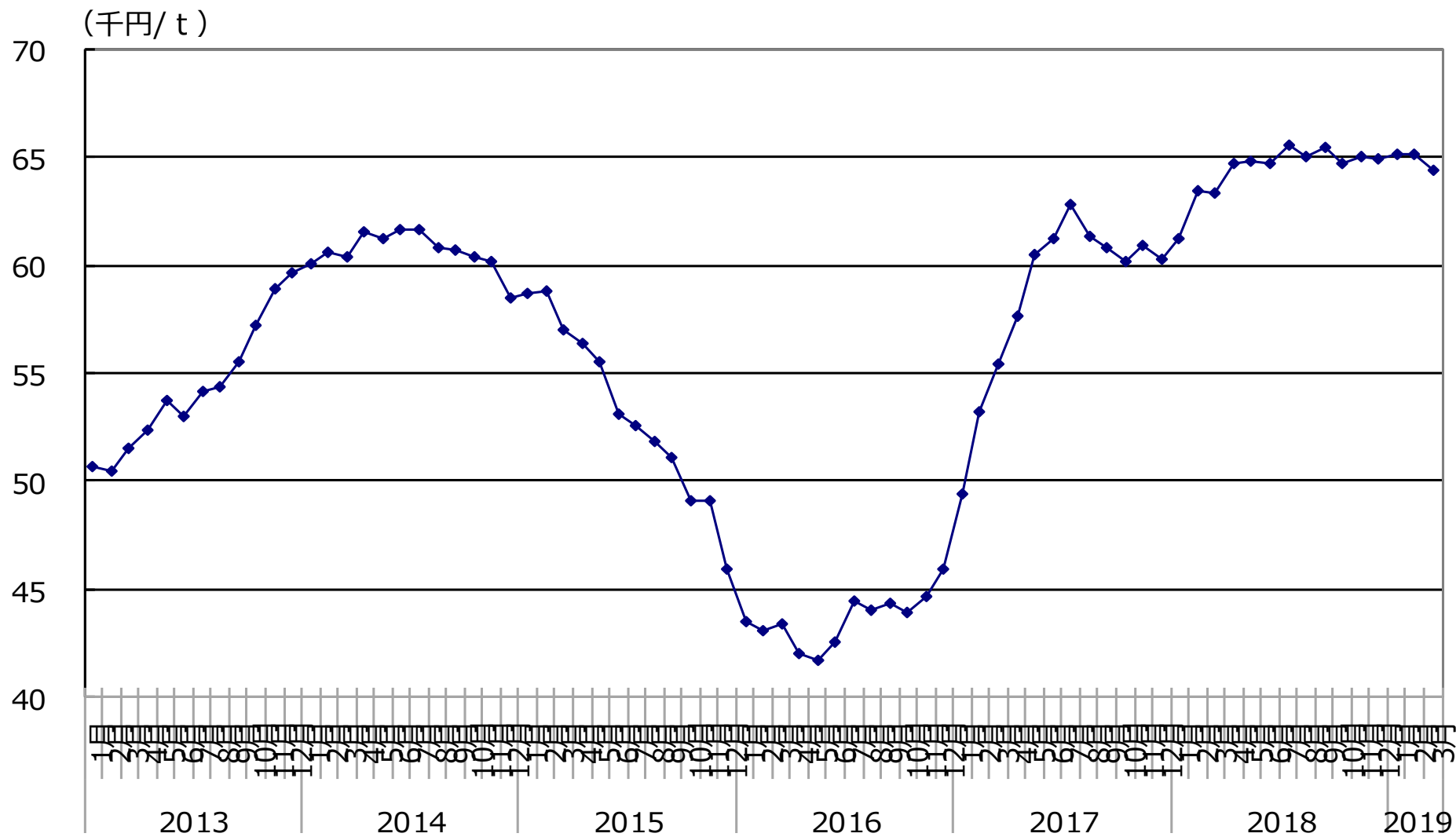


JFE

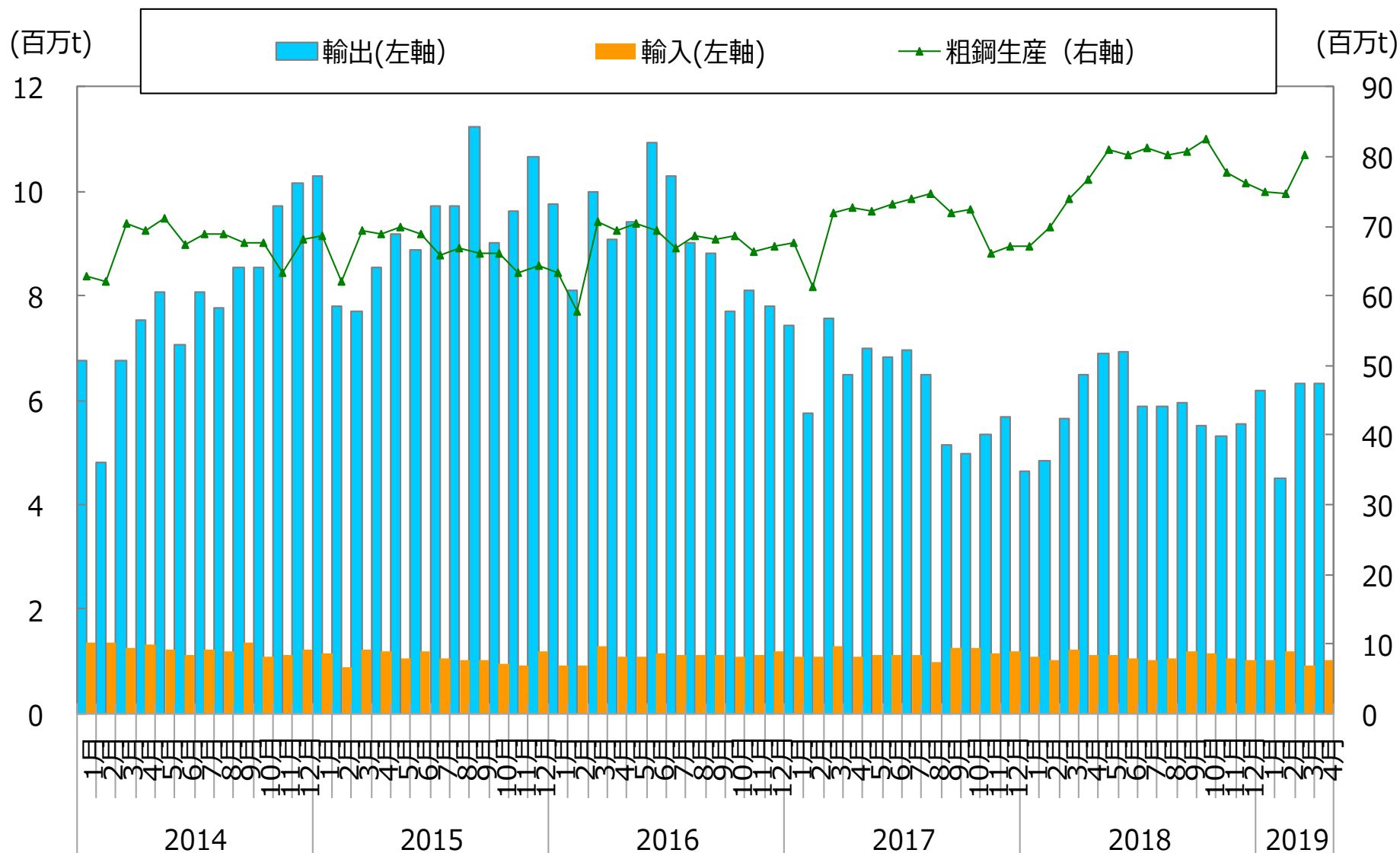
国内販売環境

輸入鋼材（普通鋼/国別）





日本鉄鋼連盟データより作成 (韓国から輸入の熱延広幅帯鋼)



※粗鋼見掛け消費：粗鋼生産-鋼材輸出+鋼材輸入で算出

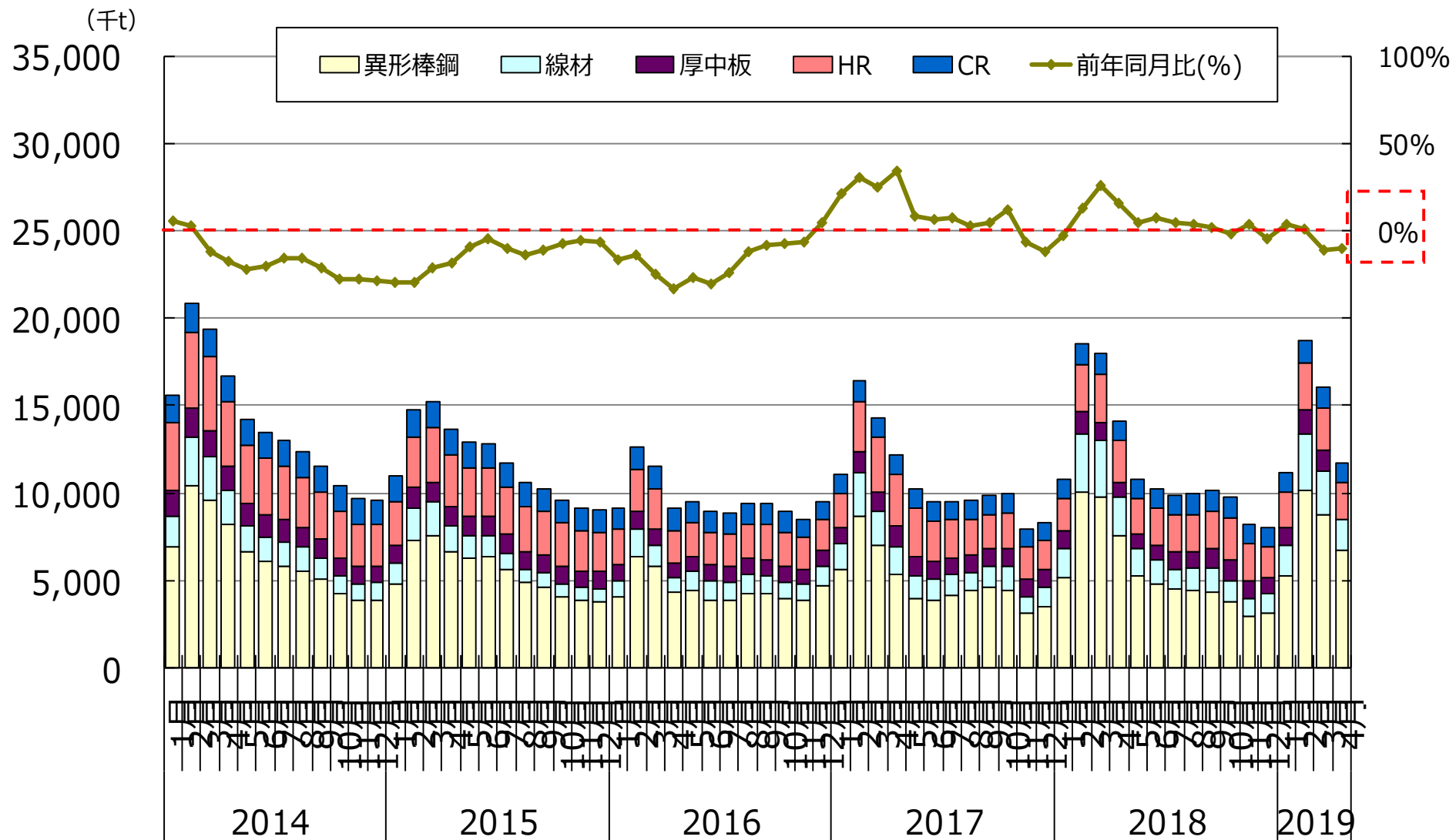
1,2月粗鋼生産量はWSA推定 45



海外販売環境

中国品種別在庫数量

JFE



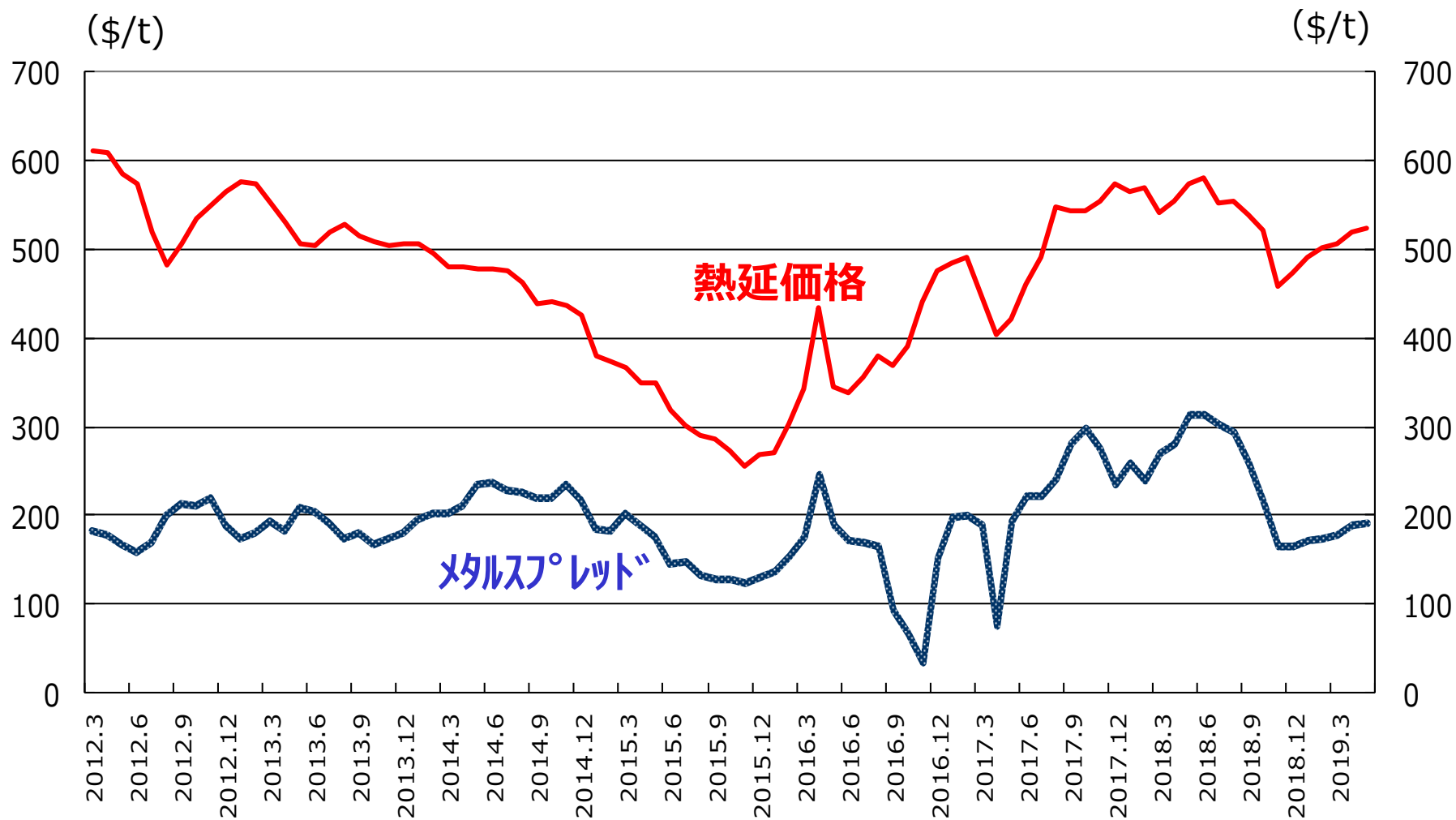


JFE

海外販売環境

(中国スポットベース) メタルスプレッド

JFEスチール



メタルスプレッド = 熱延価格 - 主原料コスト

※熱延価格：中国21都市平均価格、主原料コスト：粉鉱石、強粘炭国際スポット市況ベース

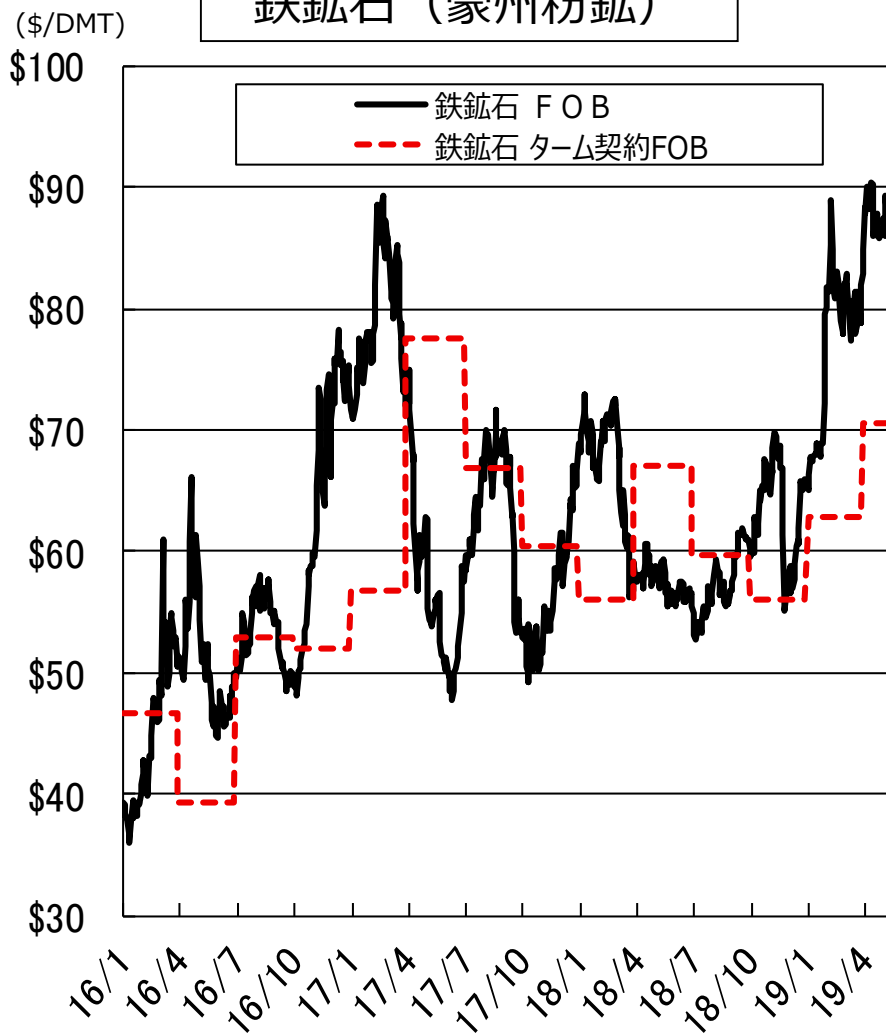


JFE

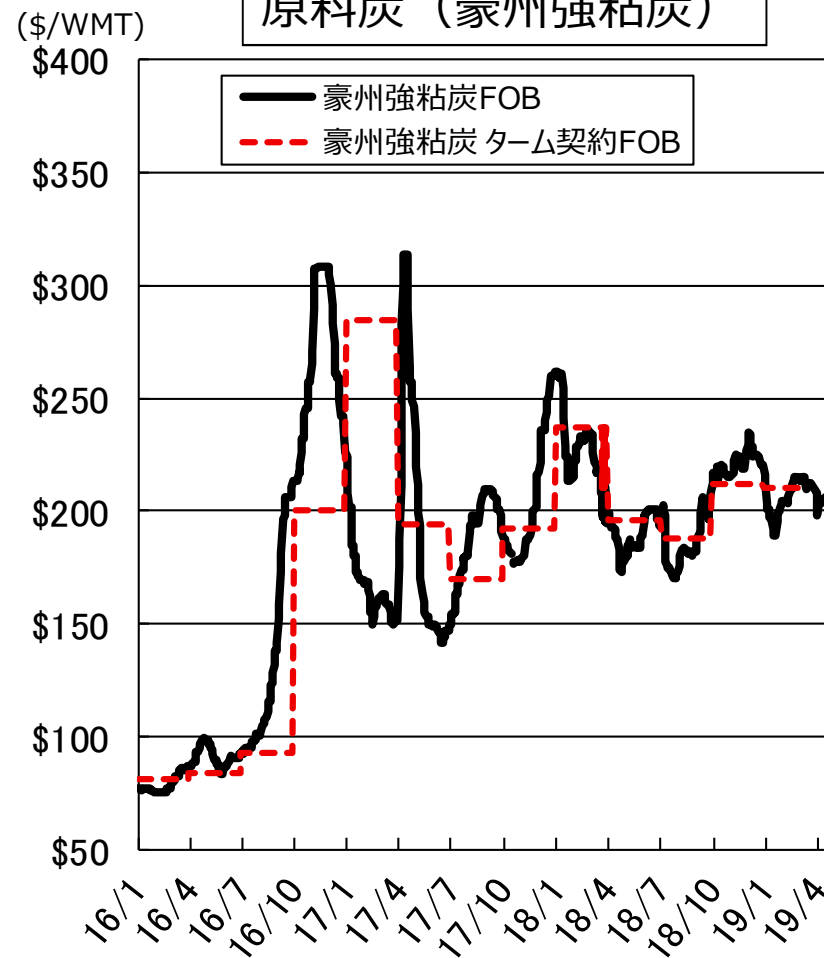
原料

主原料市況

鉄鉱石 (豪州粉鉱)



原料炭 (豪州強粘炭)



原料炭の17年4-6月期以降ターム契約FOBは、インデックス平均を記載
 (4-6月期：3-5月平均、7-9月期：6-8月平均、
 10-12月期：9-11月平均、1-3月期：12-2月平均)



原料

金属市況推移

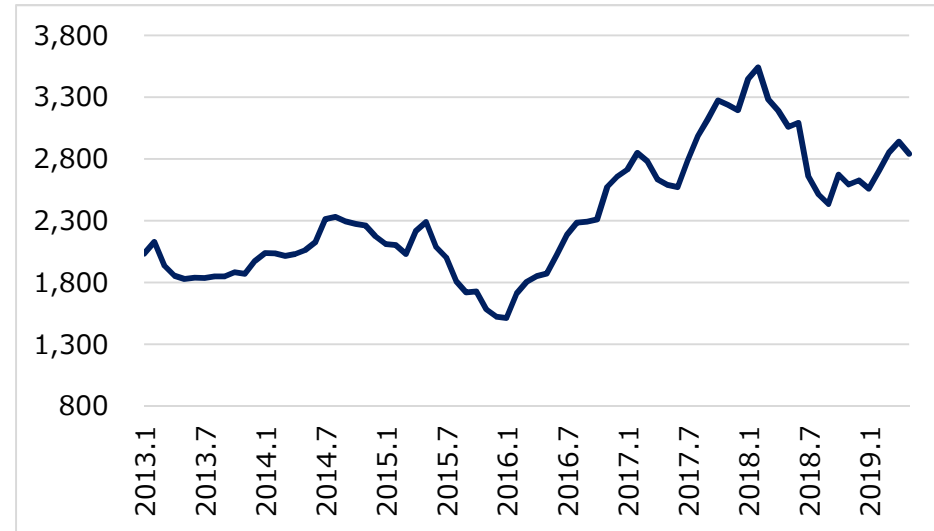
JFEスチール

JFE

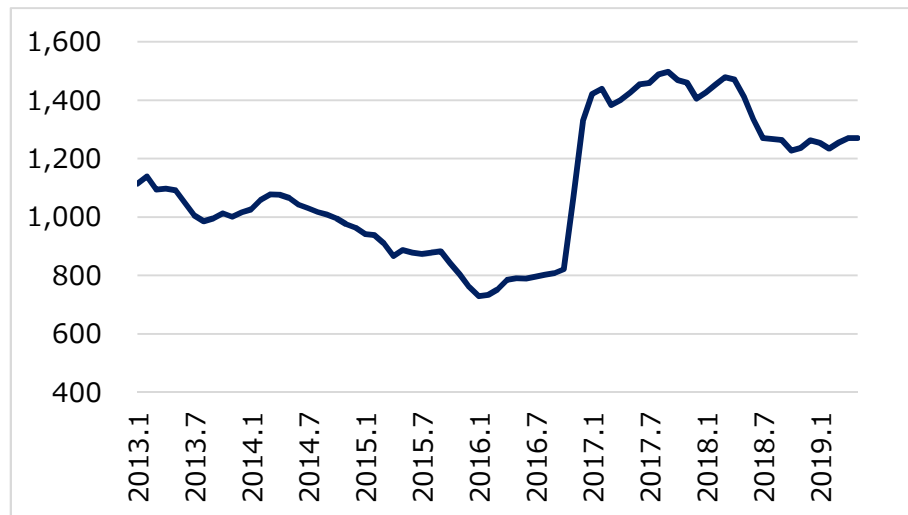
(¢/lb) フェロクロム



(US\$/t) 亜鉛



(US\$/t) フェロマンガン

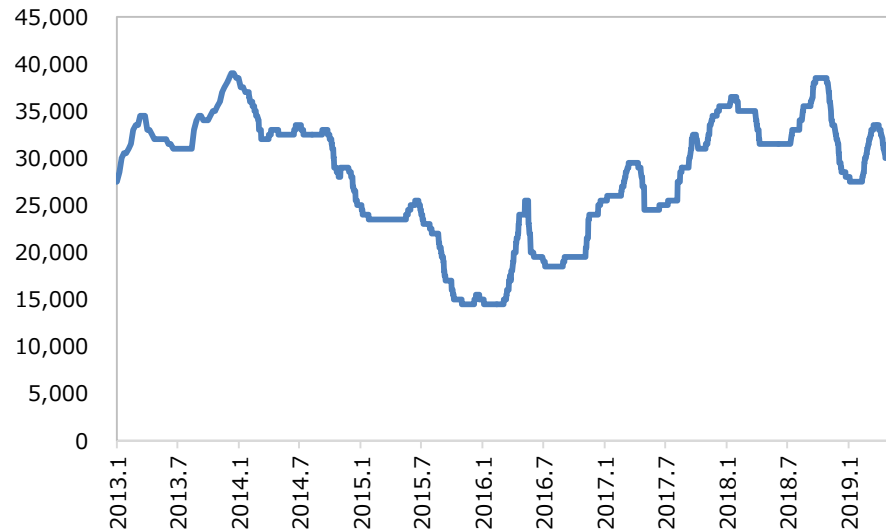


(US\$/lb) モリブデン

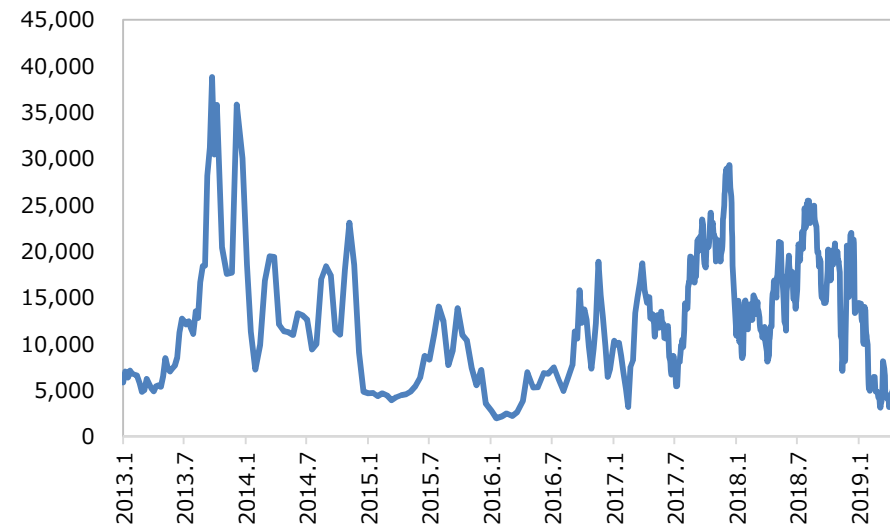




(円/t) スクラップ市況



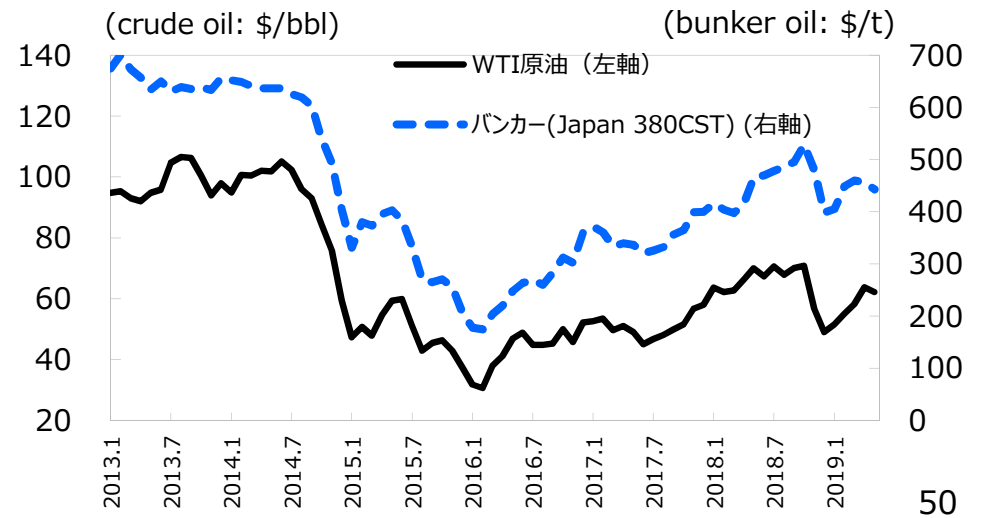
(\$/B) スポット備船市況



(円/t) LNG市況



原油・バンカー市況



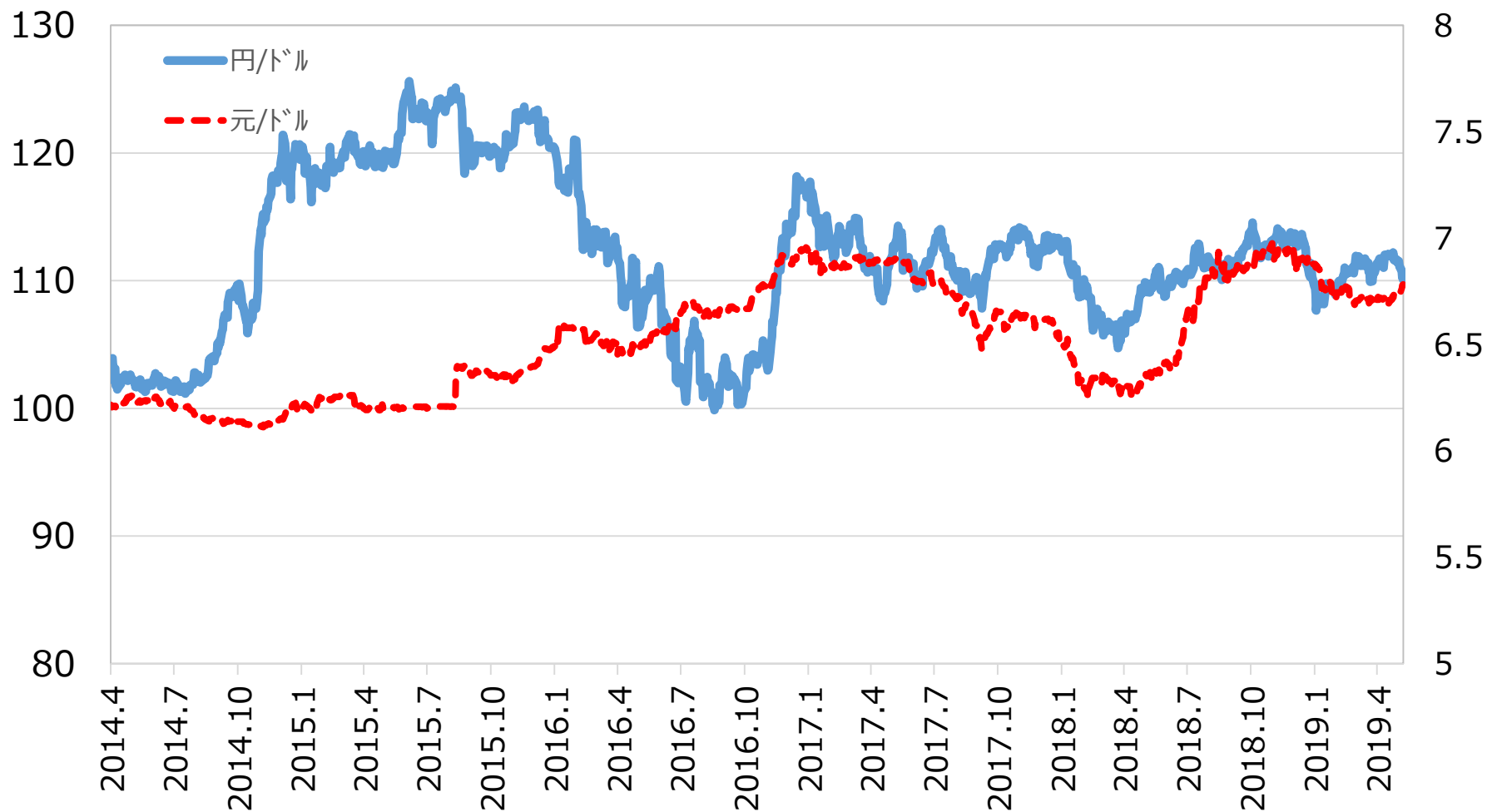


為替レート推移 (日本円/米ドル、人民元/米ドル)

JFE

(円/米ドル)

(人民元/米ドル)





JFE

Copyright © 2019 JFE Holdings, Inc. All Rights Reserved

本資料の無断複製・転載・webサイトへのアップロード等はおやめ下さい